



# エアポート都市構想



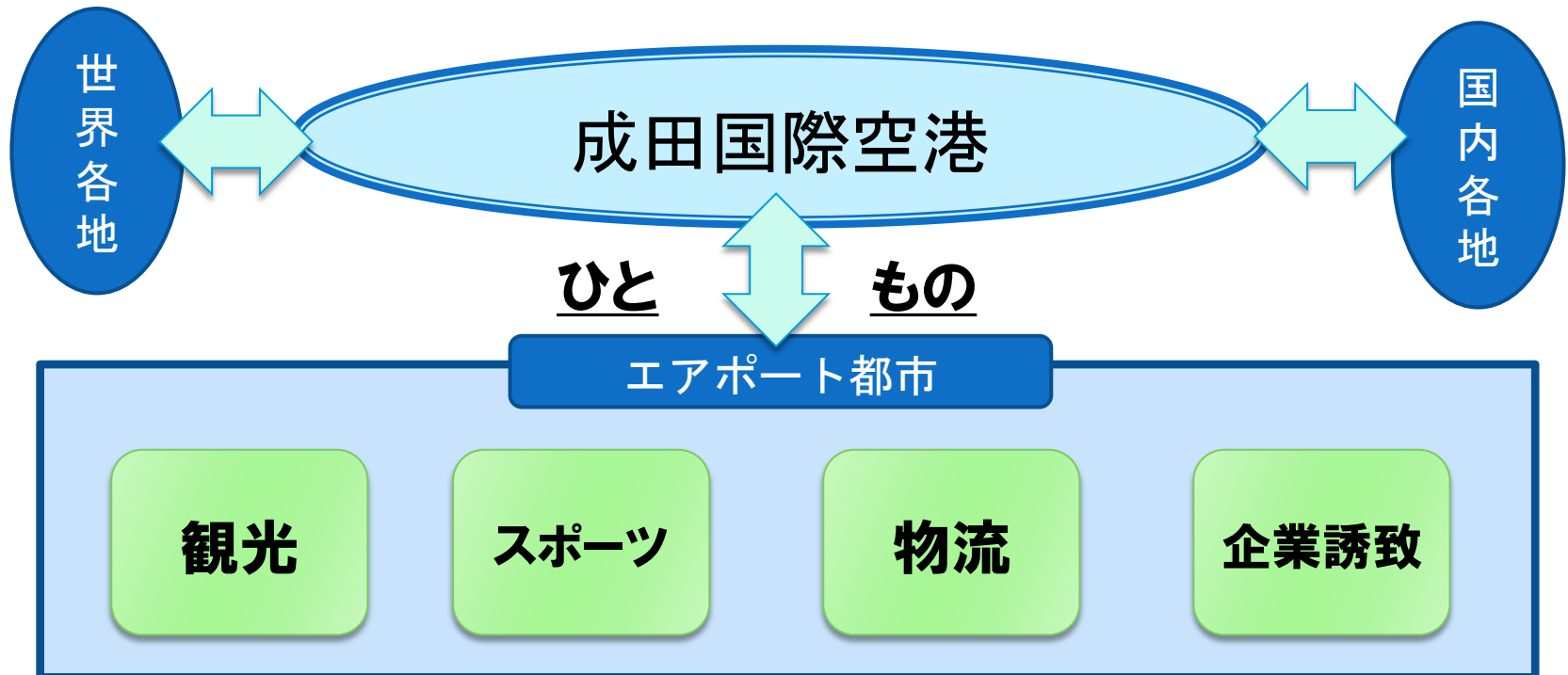
千葉県成田市



# エアポート都市構想



世界各地から集まって来る  
“ひと”や“もの”を活用し  
日本に元気をもたらしします。





・世界35カ国3地域、98都市と結ばれた充実した国際線ネットワークを有する。

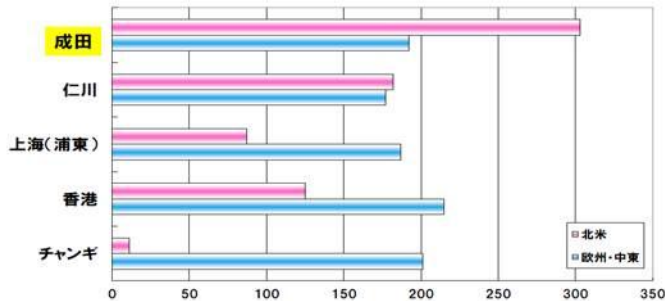
・国際線は年間17万回が運航され、国内他空港と比較して群を抜いている。  
(羽田の4.3倍、関西の2倍)

・米国と東アジア・東南アジアを結ぶトランジット拠点の位置にある。

・本年3月からオープンスカイが導入され、平成26年度までに年間発着容量30万回に向けた空港機能の強化が行われる。

WORLD SKY DATA - NARITA

成田空港の現況 —北米、欧州・中東方面への週間出発便数—



※出典：ADK Sabre社Airport Data Intelligence)2013年4月15日～21日の間のスケジュールデータをもとに、NAAが作成

## 成田国際空港の国際線ネットワーク(2013年夏ダイヤ)

資料提供：NAA

成田国際空港はアジアと北米をつなぐ「結節点」、世界98都市と結ばれているネットワークが強み



| 空港名 | 就航都市数     | 発着回数 | 国際線旅客数  |
|-----|-----------|------|---------|
| 成田  | 98都市      | 17万回 | 2,970万人 |
| 関空  | 73都市      | 8万回  | 1,140万人 |
| 羽田  | 18都市      | 4万回  | 700万人   |
| 中部  | 26都市(旅客便) | 3万回  | 450万人   |



・昨年7月からジェットスター・ジャパン、同年8月からエアアジア・ジャパンが就航した。

・国内線ネットワークの拡充により、国際・国内トランジットだけでなく、首都圏の国内線需要の一翼を担いつつある。

・今後、10月末にはピーチ・エアビエーションが就航し、来年には、春秋航空日本の就航が見込まれる。



WORLD SKY GATE  
NARITA

## マルチ・ファンクション・エアポートへの取り組み

### —国内線ネットワークの充実—

**SKY** SKYMARK AIRLINES 2011.10.30～ スカイマーク就航

**Jetstar** 2012. 7. 3～ ジェットスター・ジャパン就航

**AirAsia.com** 2012. 8. 1～ エアアジア・ジャパン就航

**直近の新規就航**

2013. 5. 31～ 鹿児島線就航(JJP)

2013. 6. 11～ 松山線就航(JJP)

2013. 7. 10～ 石垣線就航(SKY)

就航先(国内線)

| 行先       | 2013年<br>8月1日時点 |              |
|----------|-----------------|--------------|
|          |                 | (うちLCC)      |
| 旭川       | 1便/日            | —            |
| 札幌       | 16便/日           | 9便/日         |
| 仙台       | 2便/日            | —            |
| 新潟       | 1便/日            | —            |
| 中部       | 5便/日            | —            |
| 小松       | 2便/日            | —            |
| 大阪(伊丹)   | 4便/日            | —            |
| 大阪(関西)   | 2便/日            | 2便/日         |
| 広島       | 2便/日            | —            |
| 松山       | 3便/日            | 3便/日         |
| 福岡       | 15便/日           | 7便/日         |
| 大分       | 3便/日            | 3便/日         |
| 鹿児島      | 2便/日            | 2便/日         |
| 那覇       | 8便/日            | 4便/日         |
| 石垣       | 1便/日            | —            |
| <b>計</b> | <b>67便/日</b>    | <b>30便/日</b> |

Narita International Airport Corporation All Rights Reserved. (旅客便)

資料提供: NAA



・スカイアクセス線の開通により、空港・日暮里間が36分で結ばれた。

・成田空港から東京へのアクセスは、格安高速バスの運行開始により、利便性が格段に向上している。

・今後、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の開通により、常磐道・東北道方面等への利便性向上が見込まれる。

・今後、都心直結線の整備により、鉄道によるアクセスも更なる改善が見込まれる。



高速バス『東京シャトル(Tokyo Shuttle)』  
 運行区間: 成田空港⇄東京駅・東雲車庫 所要時間: 最短約70分 料金: 片道900円  
 運行本数: 成田空港行き 31本/日 東京駅行き 49本/日 (2013年9月現在)

高速バス『THEアクセス成田』(平和交通)  
 運行区間: 東京駅(八重洲口)・銀座駅⇄成田空港 所要時間: 約60分 料金: 片道1,000円  
 運行本数: 成田空港行き 22本/日 東京駅・銀座駅行き 27本/日 (2013年9月現在)

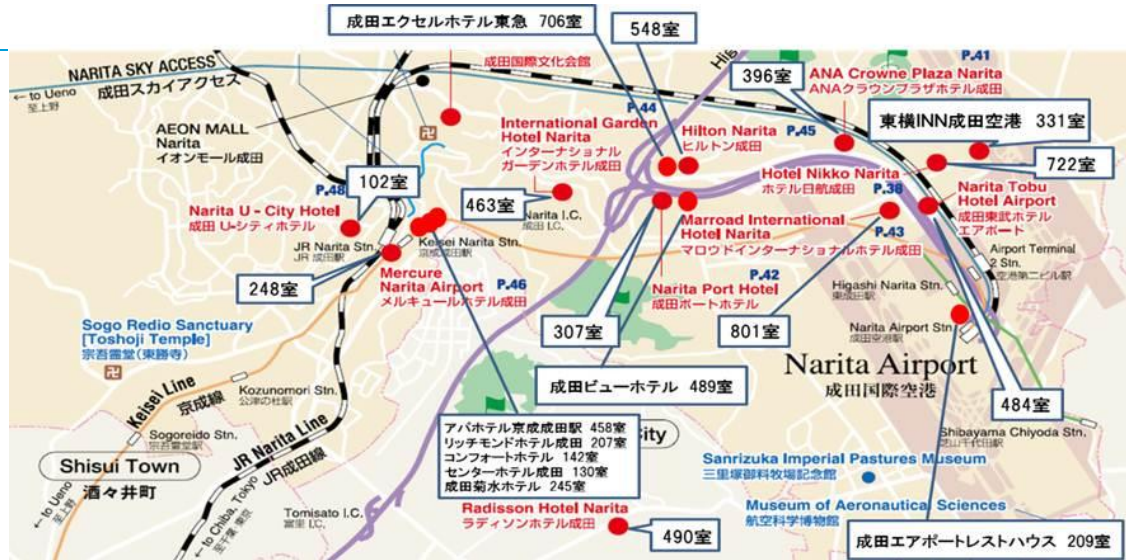
# 豊かな観光資源、充実した宿泊施設






・空港から至近距離に、年間約1,000万人もの参拝客を集める成田山新勝寺と歴史的な街並みを有する門前町がある。

・周辺地域に、伝統文化体験できる房総のむら、小江戸佐原、酒々井プレミアムアウトレット、日本酒の酒蔵など外国人にとっても魅力のある観光資源がある。



・空港周辺ホテル・旅館は、約8000室を誇り、料金は東京と比較して半額程度である。





|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
| <p><b>背景</b></p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成田国際空港を利用する外国人旅行者は年間757万人</li> <li>2 空港から至近距離に、外国人にとっても魅力のある観光資源<br/>成田山新勝寺と歴史的な街並みを有する門前町 伝統文化体験ができる房総のむら酒々井プレミアムアウトレット 日本酒の酒蔵 小江戸佐原の街並み</li> <li>3 豊富で安価な宿泊施設<br/>成田空港周辺のホテル・旅館は、約8000室 宿泊料金は東京と比較して半額程度</li> <li>4 訪日外国人をもてなす素地の育成<br/>全ての小中学校において、外国人英語教師(ALT)を配置した英語学習授業を実施</li> </ol>   |   |
| <p><b>事業展開</b></p>       | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 最終宿泊を成田で過ごすこと(ラストナイトイン成田)、最終宿泊を日本文化体験で楽しんでいただくこと(日本最後の思い出づくり)を目指した観光施策<br/>体験メニュー(着付け、写経等)の充実 空港・ホテルから市内へのアクセスの向上 多言語マップの作成</li> <li>2 トランジット旅客の市内観光への誘致<br/>空港・ホテルから市内へのアクセスの向上 短時間で周遊できる観光メニューの提供</li> <li>3 魅力ある観光・商業施設の設置<br/>免税店の設置 空港周辺地域へのアミューズメント施設の誘致</li> </ol>   |   |
| <p><b>規制改革・国との連携</b></p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 入国管理体制の強化 ⇒ 入国審査に係る所要時間を20分以内とする<br/>入国審査官の増員 入管ブースの全ブース運用 税関検査官等の増員<br/>カルーセルの全運用 自動化ゲートの増設・利用促進PRの強化</li> <li>2 ビザ発給、寄港地上陸許可(ショアパス)の緩和<br/>空港におけるビザの発給(Visa on Arrival) ショアパスの運用緩和</li> <li>3 空港の検問(セキュリティチェック)の見直し<br/>空港入場ゲートのノンストップゲート化</li> <li>4 外国人旅行者への免税措置の拡大、商業集積地における免税店設置許可の緩和</li> <li>5 土地利用規制の緩和<br/>ショッピング施設等の設置のため農業振興法、都市計画法等の土地利用規制の緩和</li> </ol> |  |

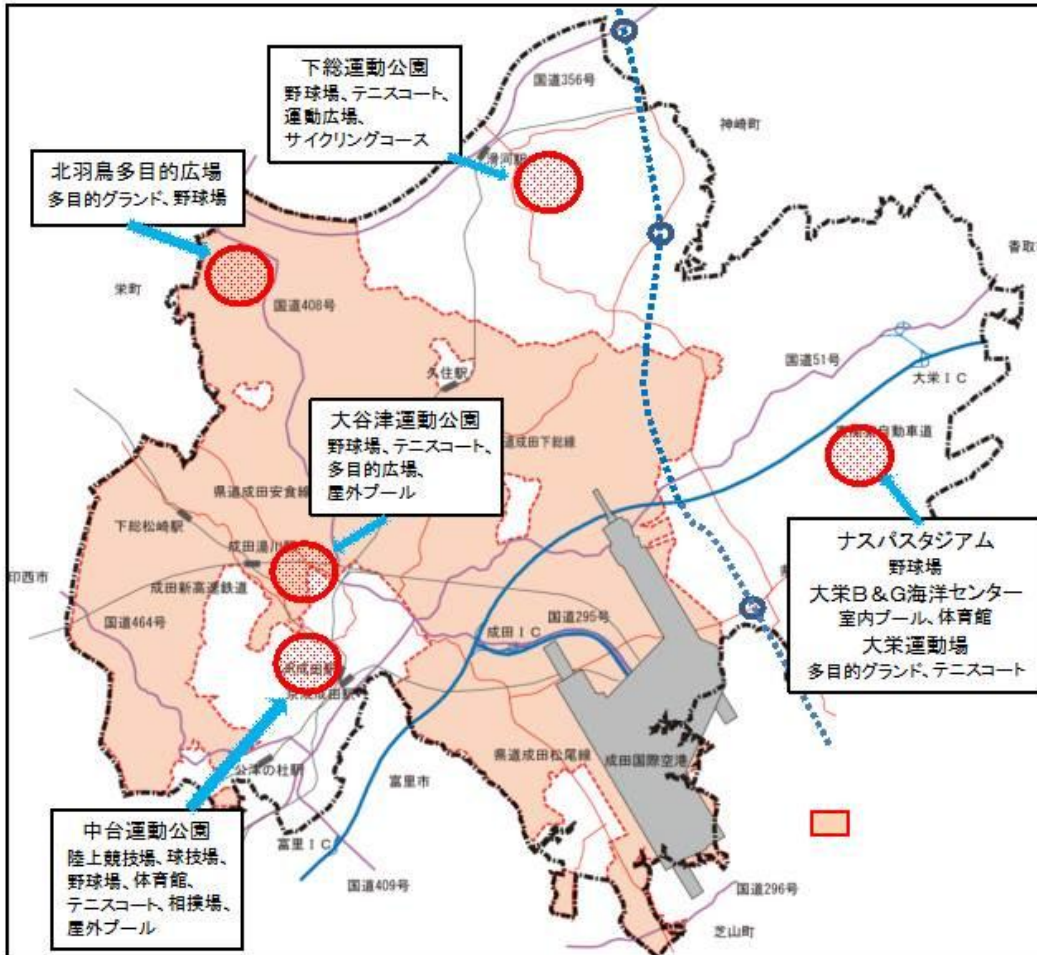


|                          |  |  |
|--------------------------|--|--|
| <p><b>背景</b></p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>豊富な運動施設</b><br/>2種公認(公式記録の計測が可能)の陸上競技場 サッカー日本代表チームも練習会場としていた天然芝のフィールド 良質な人工芝張りの球技場 スタンド付きの野球場(天然芝、人工芝) 数多くの多目的運動広場</li> <li><b>数多くの競技会開催実績</b><br/>H17: 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)<br/>H21: アジア野球選手権大会、全日本女子ソフトボール選手権大会<br/>H22: 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会<br/>H26(予定): タッチラグビーアジアチャンピオンシップ、インターハイ</li> <li><b>優れたアクセス環境</b><br/>国内随一の国際空港を擁する LCCにより日本各地からのアクセスが向上<br/>圏央道の整備の進展により関東各地からのバス移動アクセスが向上</li> <li><b>豊富で安価な宿泊施設</b><br/>成田周辺のホテル・旅館は、約8000室 宿泊料金は東京と比較して半額程度</li> </ol> |  <p>ナスパ・スタジアム</p> |
| <p><b>事業展開</b></p>       | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>国際大会、全国大会の誘致</b></li> <li><b>東京オリンピック直前合宿地、練習会場の誘致</b><br/>陸上、サッカー・ラグビーなどの球技、ボート・カヌー競技の誘致</li> <li><b>スポーツ施設の整備</b></li> </ol>   |                  |
| <p><b>規制改革・国との連携</b></p> | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>土地利用規制の緩和</b><br/>スポーツ施設整備のため農業振興法、都市計画法等の土地利用規制の緩和</li> </ol>   |  |





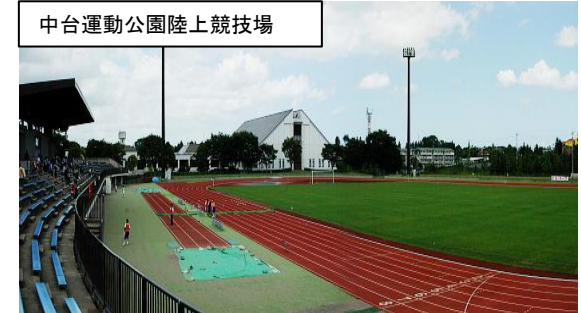
### 成田市の主なスポーツ施設 (位置図)



中台運動公園球技場



中台運動公園陸上競技場





中台運動公園体育館





| <p><b>背景</b></p>         | <p><b>1 国内屈指の国際貨物取扱量</b><br/>輸入額全国第1位、輸出額全国第2位<br/>国際航空貨物取扱量世界第5位</p> <p><b>2 米国と東アジア・東南アジアを結ぶトランジット拠点</b></p> <p><b>3 圏央道整備の進捗</b><br/>稲敷—神崎間 平成25年度 開通予定<br/>神崎—大栄間 平成26年度 開通予定</p>  | <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>国内の輸入額</th> <th>国内の輸出額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>成田空港</td> <td>名古屋港</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>東京港</td> <td>成田空港</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>名古屋港</td> <td>横浜港</td> </tr> </tbody> </table> | 順位 | 国内の輸入額 | 国内の輸出額 | 1位 | 成田空港 | 名古屋港 | 2位 | 東京港 | 成田空港 | 3位 | 名古屋港 | 横浜港 |
|--------------------------|--|---|----|--------|--------|----|------|------|----|-----|------|----|------|-----|
| 順位                       | 国内の輸入額   | 国内の輸出額  |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |
| 1位                       | 成田空港   | 名古屋港  |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |
| 2位                       | 東京港  | 成田空港  |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |
| 3位                       | 名古屋港   | 横浜港   |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |
| <p><b>事業展開</b></p>       | <p><b>1 国際物流拠点として「自由貿易地域」の整備</b><br/>保税蔵置場、保税工場、保税展示場等の誘致</p> <p><b>2 輸出手続きにおける卸売市場の活用</b><br/>輸出の手続きを卸売市場内で実施</p>   |   |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |
| <p><b>規制改革・国との連携</b></p> | <p><b>1 税制上の優遇措置</b><br/>関税の選択課税制度の適用 進出企業に対する税制上の優遇措置(投資税額控除、不動産取得税減免等)</p> <p><b>2 保税地域許可手数料の軽減</b><br/>保税蔵置場、保税工場、保税展示場及び総合保税地域に係る許可手数料の軽減</p> <p><b>3 検疫手続きの迅速化</b><br/>植物防疫等の市場内での実施</p> <p><b>4 土地利用規制の緩和</b><br/>物流施設整備のため農業振興法等の土地利用規制の緩和</p> <p><b>5 圏央道の早期整備・取り付け道路の整備</b><br/>大栄—松尾横芝間の早期整備 空港への取り付け道路の整備</p> |   |    |        |        |    |      |      |    |     |      |    |      |     |



|                          |  |   |
|--------------------------|--|---|
| <p><b>背景</b></p>         | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>さまざまな交通網の充実</b><br/>           航空網：日本随一の国際空港 LCCによる地方都市へのアクセス向上<br/>           鉄道網：スカイアクセスの開通 都心直結線の整備促進<br/>           道路網：東関東自動車道路に加え圏央道の整備が進展</li> <li><b>大都市と比較して広範で安価な土地の確保容易性</b></li> <li><b>企業誘致条例</b></li> </ol>  |  |
| <p><b>事業展開</b></p>       | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>空港周辺地域への企業誘致</b><br/>           外資系企業オフィス、物流会社、貿易会社、医療産業、ショッピング施設、アミューズメント施設等の企業誘致</li> </ol>  |  |
| <p><b>規制改革・国との連携</b></p> | <ol style="list-style-type: none"> <li><b>土地利用規制の緩和</b><br/>           進出企業の施設整備のため農業振興法、都市計画法等の土地利用規制の緩和</li> <li><b>税制上の優遇措置</b><br/>           進出企業に対する税制上の優遇措置（投資税額控除、不動産取得税減免等）</li> <li><b>外資系進出企業への就労ビザの審査の迅速化、雇用奨励金の交付</b></li> <li><b>都心へのアクセス向上</b><br/>           2020年代の開通が見込まれる都心直結線の早期整備、圏央道の早期整備</li> </ol> |   |



## 訪日外国人誘致エリア

- ・成田山新勝寺と歴史的な街並みを有する門前町
- ・空港周辺地域でのショッピング施設・アミューズメント施設の整備

## スポーツツーリズムエリア

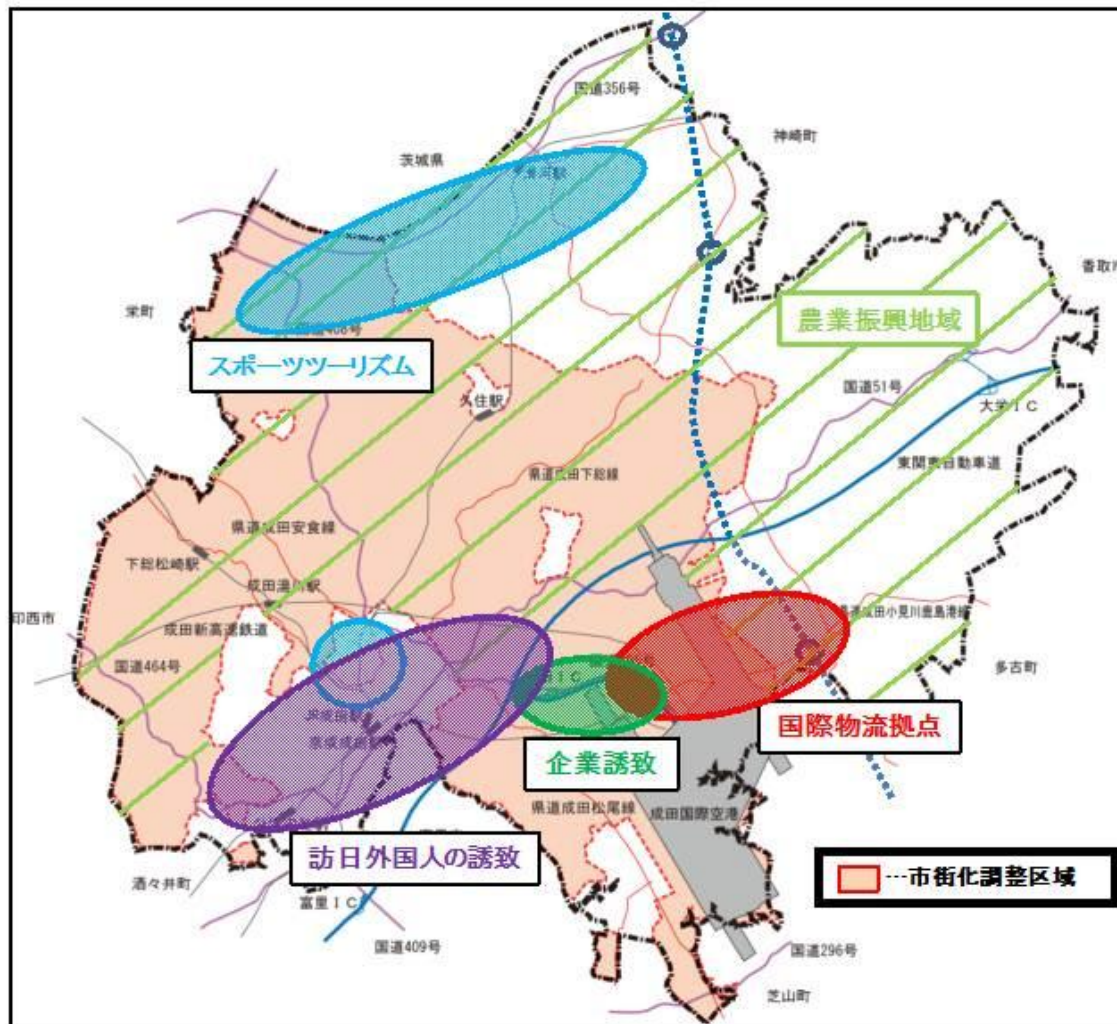
- ・中台運動公園を中心とする既存設備
- ・豊住・下総地区を中心に施設拡張

## 国際物流拠点エリア

- ・圏央道IC周辺地域、国道295号線沿道への施設誘致

## 企業誘致エリア

- ・国道295号線沿道への企業誘致





### 1) 訪日外国人旅行者の誘致促進

- ・訪日外国人旅行者の増加を目指す
- ・観光収入でアジアトップクラスを目指す。
- ・宿泊客のおよそ6人に1人は外国人となる社会を目指す。
- ・設備投資を増加させることを目指す。

### 2) スポーツツーリズムの推進

- ・訪日外国人旅行者の増加を目指す
- ・観光収入でアジアトップクラスを目指す。
- ・宿泊客のおよそ6人に1人は外国人となる社会を目指す。

### 3) 国際物流拠点としての機能強化

- ・設備投資を増加させることを目指す。

### 4) 国際企業も含めた企業誘致促進

- ・設備投資を増加させることを目指す。
- ・医療技術・サービスが獲得する海外市場の増加を目指す。